**会　　　議　　　録**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 会議の名称 | 平成３０年度本庄市子ども・子育て会議 | |
| 開 催 日 時 | 平成３０年５月９日（水） | 午後１時３０分から  午後２時３０分まで |
| 開 催 場 所 | 本庄市役所　５０４会議室 | |
| 出　席　者 | 谷田委員、塚田委員、根岸委員、榊田委員、岡村委員、岡崎委員、富沢委員、長谷川委員、羽生委員、境野委員  学校教育課：荒牧補佐  事務局：山田福祉部長、我妻課長、塩原補佐、栗田補佐、山田主査、千田主任 | |
| 欠　席　者 | 飯島委員、都丸委員、中原委員、間庭委員、吉田委員、  田邊委員 | |
| 議　　題  （次　　第） | １　開会  ２　委員委嘱  ３　あいさつ  ４　委員長及び副委員長の選出  ５　委員長及び副委員長のあいさつ  ６　議事  本庄市子ども・子育て支援事業計画の一部見直し  について  ７　その他  ８　閉会 | |
| 配　付　資　料 | １　座席表  ２　本庄市子ども・子育て会議委員出欠席名簿  ３　会議次第  ４　本庄市子ども子育て条例  ５　資料１　本庄市子ども・子育て支援事業計画の一部見直しについて | |
| その他特記事項 |  | |
| 主　管　課 | 福祉部子育て支援課 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議の経過 | |
| 進　行 | 発言内容・決定事項等 |
| １．開会  （我妻課長） | 開会及び会議資料の確認 |
| ２．委員委嘱  （我妻課長） | 進行 |
| （市　長） | 出席された各委員に委嘱状を交付。 |
| ３．あいさつ  （我妻課長） | 進行 |
| （市　長） | あいさつ。あいさつ終了後退室。 |
| （出席している各委員） | 自己紹介 |
| （事務局） | 自己紹介 |
| ４．委員長及び副委員長の選出  （我妻課長） | 座長を山田部長に依頼。 |
| （山田部長） | 委員に立候補、推薦を問う。 |
| （委　員） | 立候補、推薦の発言なし。 |
| （山田部長） | 事務局案の有無を問う。 |
| （塩原補佐） | 委員長に岡崎吉宏様　副委員長に岡村和美様を提案。 |
| （山田部長） | 出席委員の意思を問う。 |
| （委　員） | 出席委員の全員が事務局案を承認。 |
| ５．委員長及び副委員長のあいさつ  （山田部長） | 委員長岡崎吉宏様、副委員長岡村和美様あいさつを依頼。 |
| （岡崎委員長） | あいさつ |
| （岡村副委員長） | あいさつ |
| （山田部長） | 岡崎委員長に委員長席の着席を促し、進行を事務局に依頼。 |
| （我妻課長） | 議事進行を岡崎議長に依頼。 |
| ６．議　事  （岡崎議長） | 本庄市子ども・子育て支援事業計画の一部見直しについて事務局に説明を依頼。 |
| （千田主任） | 配布資料をもとに本庄市子ども・子育て支援事業計画の一部見直しについて説明。 |
| （岡崎議長） | 質問等の有無を問う。 |
| （根岸委員） | 幼稚園の３号認定に伴う人数の増加見込みについてを問う。 |
| （栗田補佐） | 前回の会議で事務局より説明し、委員より理解を得ており、今回の量の見込みに反映されている、今回は更なる変更になると説明。 |
| （根岸委員） | 了解。 |
| （岡崎議長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （羽生委員） | 必要利用定員総数の積算についてを問う。  （資料P２【変更後】の表） |
| （千田主任） | 市の人口の推計、出生率等の過去からの推移を考慮して積算していると説明。 |
| （羽生委員） | 需要として積算されているかと問う。 |
| （千田主任） | 就学前の児童数に対する保育園等への申込みの割合、人口推移も考慮して積算していると説明。 |
| （羽生委員） | 平成３１年度０歳児の必要利用定員総数が１０人しか見込まれていないのに、確保の内容の欄の人数を増やすことの理由を問う。 |
| （千田主任） | 各年齢ごとの定員については、各地域によって差があり、内訳の設定については難しい面もある。本市の傾向では１、２歳児の保育園の申込み数がかなり多い。０歳児については、ほぼ横ばいであるが、認定保育園となると０歳児から受け入れる必要性があることで見込み数が増えている。育児休暇の実態も考慮されていると説明。 |
| （羽生委員） | 配布した資料に、理由付づけとして補足説明をすることを提案。 |
| （羽生委員） | 必要利用定員総数の積算についてを問う。（資料Ｐ４の表）  平成３１年度の高崎線以北【変更前】の２号認定が３９６人から【変更後】は３８９人に減っている。反対に以南は増えている。 |
| （栗田補佐） | 保育園の申込者数、地域ごとに需要を再度見直している。  　高崎線以南には、本庄早稲田駅周辺に転入者が増えるのに伴って児童数の増加が見込まれることも反映されていると説明。 |
| （羽生委員） | 需要見込みが計画策定を行なう上で重要になると意見。配布資料に補足説明をすることを再度提案。 |
| （事務局） | 了解。 |
| （岡崎議長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （羽生委員） | ０歳児の必要利用定員総数が平成２８年度と平成２９年度を比較すると大幅に減っていることを問う。（資料P２の全ての表） |
| （栗田補佐） | 出生と同時に保育園に預ける人数として計画開始年度の平成２７年度より見込んでいたが、計画値まで見込まれないことから平成２９年度の計画値を変更した。０歳児の利用が減っている分を１歳児に振り分けたと説明。 |
| （羽生委員） | 了解。 |
| （岡崎議長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （境野委員） | ０歳児について必要利用定員総数が減っていること等の状況把握を早く行い、利用者のニーズに見合うよう、速やかに情報提供した方が良いと意見。 |
| （栗田補佐） | ０歳児については、提供体制は整っていると説明。 |
| （境野委員） | 利用者が保育園の受け入れ状況等を知らなかったということが無いように、利用者に必要な情報を案内をする必要があると意見。 |
| （栗田補佐） | 以前から広報によりその都度案内しているが、今後も周知に努めていくと説明。 |
| （境野委員） | 了解。 |
| （岡崎議長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （羽生委員） | 本市の待機児童の有無についてを問う。 |
| （栗田補佐） | 本市において定義上の待機児童はないと説明。 |
| （羽生委員） | 了解。 |
| （岡崎議長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （委員） | 他質問等なし。 |
| （岡崎議長） | 議事終了を発言。 |
| ７．その他  （我妻課長） | その他質問等の有無を問う。 |
| （根岸委員） | 本庄市版ネウボラについてを問う。 |
| （我妻課長） | 婚活から結婚～出産～子育て、長い時間的経過の中で、それに伴う子育てに関する事業を行なうそれぞれの部署間で切れ目のない支援を行なっていけるように連携していく。皆様の意見を伺いながら進めて行きたいと説明。 |
| （根岸委員） | 気持ちの面で、自らの行動が起こせない者に対して、保健センター等で訪問を行うことが有効で良い結果をもたらすと関係者間でも話し合っていると意見。 |
| （我妻課長） | 今後も関係機関等の意見を伺いながら、進めて行きたいと説明。 |
| （我妻課長） | 他質問等の有無を問う。 |
| （委員） | 質問等なし |
| （我妻課長） | 事務局から今後の予定についての説明を依頼。 |
| (塩原補佐) | 今後の子ども・子育て支援会議開催予定等の説明。 |
| ８．閉会  （我妻課長） | 閉会。 |
|  |  |